

デザイン・アートコース

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	5			4
教科書		副教材等		
精選国語総合（東京書籍）		「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）、「新実用国語の演習」（中部日本教育出版）、「基礎からの総合トレーニング 現代文1 演習JUMP編」（ランズ）		
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。</li> <li>・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。</li> </ul>				
学習内容				
<p>【前期】</p> <p>教科書 現代文編P9～116、古文編P235～270、漢文編P339～358 を学習。学習の中心は以下の通り。</p> <p>現代文▶随想「届く言葉」「記憶にない街路樹」、小説「羅生門」、評論「水の東西」、小説「城の崎にて」、評論「時間と自由の関係について」／古文▶「古文入門」「徒然草」「伊勢物語」／漢文▶「訓読の基本」「故事成語」「寓話」</p> <p>【後期】</p> <p>教科書 現代文P117～206、古文P271～338、漢文P359～386を学習。学習の中心は以下の通り。</p> <p>現代文▶詩・短歌・俳句（「詩歌」）、評論「まちの豊かさとは何か」「真の自立とは」、小説「富嶽百景」／古文▶「土佐日記」「枕草子」「竹取物語」「和歌」「奥の細道」／漢文▶「唐詩」「史話」「論語」</p>				
学習方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文を丁寧に読む。毎回の授業ノートをとる。</li> <li>・わからない読み・語句の意味は授業時に明らかにする。読解困難な部分については、授業時に質問して明らかにする。</li> <li>・活動の際には積極的に参加する。</li> <li>・教科書、授業ノート、授業内配布物等を活用して、週末課題等の授業外課題に取り組み、期限内に提出する。</li> <li>・考査で得点できるように復習する。</li> </ul>				
評価基準と評価方法				
<p>以下の観点を踏まえて、授業への取り組み（授業態度・学習活動への参加状況）、提出物の提出状況、授業内小テスト、定期考査、出席の状況などから総合的に判断し、評価する。</p>				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているか。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているか。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているか。	文章を的確に読みとったり、目的に応じてさまざまな文章を幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。	伝統的な言語文化、言葉の特徴やきまり、漢字などについて基礎的な知識が身につけているか。

### 担当者より一言

国語総合では、現代文(随想、評論、小説、詩歌、言語活動)・古文・漢文を総合的に学びます。漢字、語彙、文語、訓読といった基礎知識を身につけ、知識を広げるとともに、文章の読解をとおしてさまざまな価値観に触れ、感受性を豊かにし、自分自身の考えを広げてほしいと思います。

## デザイン・アートコース

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2			4
教科書		副教材等		
改訂版世界史 A(第一学習社)		世界史 A ノート (第一学習社) アカデミア世界史 (浜島書店)		
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学「歴史」での学習の復習もしながら、世界の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連づけて、現代につながる生きた歴史を学習する。</li> <li>・ 世界史の学習を通して、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</li> </ul>				
学 習 内 容				
<b>【前期】</b> ○教科書は、P 2 4～1 6 7 までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーラシアの諸文明</li> <li>・ 結びつく世界と近世の日本</li> <li>・ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</li> <li>・ アジア諸国の変貌と近代の日本</li> <li>・ 帝国主義の時代</li> <li>・ 急変する人類社会</li> </ul>		<b>【後期】</b> ○教科書は P 1 7 2～2 3 3 までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界戦争と平和</li> <li>・ 三つの世界と日本の動向</li> <li>・ 地球社会への歩みと課題</li> <li>・ 持続可能な社会への展望</li> </ul>		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の説明を聞く。理解が困難な部分については、授業時等に質問して明らかにする。</li> <li>・ 教科書本文を丁寧に読む。副教材を利用する。</li> <li>・ テーマを設定し、調べ、まとめ、発表・聞き取り・質問し、自己・他者評価する。</li> </ul>				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
考査の成績、授業態度を総合的に判断して評価する。				
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

コース デザイン・アート

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	4	0	66	4
教科書		副教材等		
改訂版 最新数学 I (数研出版)		3ROUND 数学 I (数研出版)		
学 習 目 標				
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
学 習 内 容				
(1) 数と式 (2) 集合と命題 (3) 2次関数 (4) 図形と計量 (5) データの分析				
学 習 方 法				
・授業 教科書に沿って、定義と公式の意味・使い方、例題を解説します。また、教科書の間と副教材を活用して数多くの問題演習に取り組み、高等学校で必要な計算力を身に付けていきます。 ・定期考査 副教材の基礎問題、標準問題の類題を中心に出题します。前期、後期それぞれ2回ずつ実施します。				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
・次の観点をふまえ、授業への取り組み(出席状況・授業態度等)、課題への取り組み、試験の成績等を総合して評価します。				
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
担 当 者 よ り 一 言				
授業で理解できなかった公式や問題等をそのままにせず、解決してから、次の授業に臨むように心掛けてください。				

## デザイン・アートコース

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	-	48	2
教科書		副教材等		
高等学校改訂科学と人間生活（第一学習社）		改訂ネオパルノート科学と人間生活（第一学習社）		
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</li> <li>・科学技術の発展が、どのように貢献したかについて理解する。</li> </ul>				
学習内容				
<p>(1) 衣料と食品（前期中間考査）</p> <p>(2) 微生物とその利用（前期期末考査）</p> <p>(3) 熱の性質とその利用（後期中間考査）</p> <p>(4) 身近な自然景観と自然災害（後期期末考査）</p>				
学習方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業 教科書に沿って、説明します。 副教材で要点整理や、問題演習を行います。プリント問題も行います。</li> <li>・試験 副教材やプリントから中心に出題します。</li> </ul>				
評価基準と評価方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価は次の観点を踏まえ、プリントの評価、授業の出席状況、試験の成績などを総合して評価します。</li> </ul>				
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
科学技術に対する関心を高める態度を身につけている。	これからの科学と人間生活とのかかわり方について科学的・論理的に思考し、判断する。	観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性につける。	
担当者より一言				
身近にある自然の事物・現象や科学技術について学習します。プリントや副教材などでわからないところは、積極的に質問してください。				

## 令和3年度 教科シラバス（デザインアートコース）

教科	保健体育	科目	保健(1年次)
単位数	1単位	レポート	なし
教科書	・現代高等保健体育 改訂版(1年次)	副教材	・現代高等保健体育ノート 改訂版

### 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

### 学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
1 単元 現代社会と健康 教科書 P 6 ～ P 3 0	1 単元 現代社会と健康 教科書 P 3 2 ～ P 6 2

### 学習方法

- ・教科書本文を丁寧に読む。
- ・毎時間の授業ノートを取り、授業に参加をする。
- ・教科書、授業ノート、配布物を活用して、課題に取り組む。
- ・自己の生活と照らし合わせて、自分の人生に役立てる。

### 評価方法

・授業への参加状況（関心・意欲・態度）、課題の提出状況、考査の成績（知識・理解）を総合的に判断して評価する。

## コース デザインアート (1学年)

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	4	/	94	4
教科書		副教材等		
MY WAY English Communication I New Edition (三省堂)		MY WAY English Communication I New Edition ワークブック STANDARD(三省堂) チャンクで英単語 Basic(三省堂)		
学 習 目 標				
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学 習 内 容				
<前期> (4月～9月) ・ Lesson 1～Lesson 5 本文 文法事項：文のしくみ、品詞、節と句、 比較表現、助動詞、受動態、進行形、完了形、 不定詞		<前期> (10月～2月) ・ Lesson 6～Lesson 10 本文 文法事項：関係代名詞、分詞、分詞構文、 関係副、仮定法		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文を聞いたり読んだりして内容を理解します。予習として単語の意味を調べておきましょう。</li> <li>・ 単語の意味の確認、発音練習、本文の音読練習を行います。</li> <li>・ 文法の要点をノートにまとめ、練習問題を解き、自己表現文を書きます。</li> <li>・ 各課のまとめとして、単語の小テストを行います。</li> <li>・ 『チャンクで英単語』を使って、語彙力を高めます。</li> </ul>				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
以下の観点を踏まえ、授業への取り組み(学習への積極的な参加、ノート記述状況など)、定期考査、課題テスト、小テスト、課題提出状況などから総合的に評価します。				
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションをはかろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えを適切に伝えている。	外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化なども理解している。	
担 当 者 よ り 一 言				
外国語を身につけるには毎日の積み重ねが大切です。授業への積極的な取り組みに加えて、家庭学習の習慣を身につけることが、学力向上につながります。予習復習、課題や小テストへの学習を継続して行いましょう。わからないことがあったら、遠慮なく質問してください。				

## コース デザインアート (1学年)

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
選択	2	/	47	4
教科書		副教材等		
be English Expression I Advanced (いいずな書店)		be English Expression I Standard Workbook (いいずな書店)		
学 習 目 標				
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
学 習 内 容				
<前期> (4月～9月) ・ Lesson 1 ～Lesson 1 4 自己紹介(現在形)、休日の過ごし方(過去形、未来)、 旅行(完了形)、食事・学校・家庭(助動詞)、 交通(受動態)、将来・健康(不定詞)、趣味(動名詞)		<前期> (10月～2月) ・ Lesson 1 5 ～Lesson 2 5 自然・災害(分詞)、発明・業績(関係詞)、 生活環境・社会問題(比較表現)、 ビジネス・エネルギー(仮定法)、 グローバル化・地球(接続詞)		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入の会話を聞いたり読んだりし、内容を理解します。</li> <li>・ 文法の説明を聞き要点をノートにまとめ、問題演習をします。</li> <li>・ 学習したことを取り入れながら、テーマに沿って英文を書いたり発表をしたりします。</li> <li>・ 2つまたは3つの課のまとめとして、教科書 Exercises の小テストを行います。</li> </ul>				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
以下の観点を踏まえ、授業への取り組み(学習への積極的な参加、ノート記述状況など)、定期考査、小テスト、課題提出状況などから総合的に評価します。				
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
課題に関心を持ち、積極的に、コミュニケーションをはかろうとする。	身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝えている。	身の回りの情報や聞いたり読んだりしたことを、正しく理解している。	言語の運用に関する基礎的な知識を身につけているとともに、その背景にある文化も理解している。	
担 当 者 よ り 一 言				
間違いを恐れず積極的に英語を使いましょう。自分の考えなど伝えたい事柄を大切に、伝えるための表現を身につけましょう。				

## コース デザイン・アート

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	0	46	2
教科書		副教材等		
改訂版 社会と情報(第一学習社)		ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー(実教出版)		
<b>学習目標</b>				
コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。				
<b>学習内容</b>				
(1) 情報の活用と表現 (2) 情報の表現 (3) 情報社会のしくみと安全性 (4) 情報社会と問題解決				
<b>学習方法</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業 教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト、ペイントソフトを活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につけていきます。</li> <li>・定期考査 授業中に配布する問題プリントや教科書の用語とまとめ、章末問題の類題から出題します。前期、後期それぞれ1回ずつ実施します。</li> </ul>				
<b>評価基準と評価方法</b>				
・次の観点をふまえ、授業への取り組み(出席状況・授業態度等)、課題への取り組み、試験の成績等を総合して評価します。				
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルをふまえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	
<b>担当者より一言</b>				
社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割を理解するとともに、SNSでトラブルに巻き込まれないよう情報モラルや法律等必要な知識を身に付けていこう。				

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
選択	3		33	
教科書		副教材等		
高校生の美術1		デッサンの基本		
<b>学 習 目 標</b>				
<p>(1) 材料の特性を理解し対象を観察することでの確に描写する基礎的な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力などを育成する。</p> <p>(3) 造形表現を追求する態度を養う。</p>				
<b>学 習 内 容</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道具の使い方や姿勢など基本的な描き方から構図や陰影など基礎的な技法を学ぶ。</li> <li>・ 自然物や想定など幅広く学習すること描写力と基礎的な感性や表現を学ぶ。</li> </ul>				
<b>学 習 方 法</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書やワークシートなどを活用する。</li> <li>・ 実技の授業に参加し、活動を通して内容の理解を深める。</li> <li>・ 分からないところは質問したりして明らかにする。</li> <li>・ 先生の話や配布物を確認し、期限を守って作品を完成させ提出する。</li> </ul>				
<b>評 価 基 準 と 評 価 方 法</b>				
出席、授業態度、作品や提出物などで総合的に判断し評価する。				
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。</li> <li>・ 粘り強く制作に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。</li> <li>・ 表現する際に、適したタッチや構図を選ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象の持つ構造や特徴を捉え、描写するための基礎的な技能を習得している。</li> <li>・ 学んだ技法や技術を表現に生かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イメージや作品について言葉で説明できる。</li> <li>・ デッサンの基礎的な知識を理解している。</li> </ul>	
<b>担 当 者 よ り 一 言</b>				
<p>造形や表現において必要な基礎的なことを学びます。</p> <p>大学受験においても必要になるのでしっかりと学習しましょう。</p>				